

今日のわだい

- [1面] 全厚労第62回定期大会 医療研究集会のお知らせ
- [2~3面] 大会での発言から 2014年度新役員他

全厚労ニュース

全国労働組合連合会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
http://www.zenkouro.org/

いのちと暮らしを守る職場と政治へ

全厚労第62回定期大会

全厚労は、9月12~13日の2日間、「第62回定期大会」を広島・リーガロイヤルホテル広島にて開催、19県から182名が参加して1年間の運動の総括と新年度の方針を確立しました。

「協同組合」病院 だからこそ

主催者あいさつにたった茂原宗一中央執行委員長は、「厚生連は2012年に『長期ビジョン』を出し、25年に向けて、医療・施設機能を統廃合・縮小する動きが出ているが、すでに石西や栃木、広島・府中でも統廃合で、厚生連がなくなってきた。安倍政権は『農協改革』を打ち出し、農協病院である必要があるのか、という声も聞かれるが、『協同組合』だからこそ、今を切り拓く展望が開けるのではないかと、職員・地域住民が作っていく病院だからこそその優位性を活かしていく必要性を訴えました。

「軍事」か 「社会保障」か

2名の来賓からあいさつを頂きました。日本医労連の中野千香子中央執行委員長は、「安倍政権は、概算要求101兆円と過去最大の予算規模を考えているが、軍事費が膨張し、消費税を充てると言った社会保障費は抑制されている。集団的自衛権の行使容認は、たった25分の閣議で決定され、異論も出されない。しかし国民は声を上げている。私たちも全県キャラバン行動で、安全安心の看護・医療を実現するための運動を行っています。一緒に頑張りましょう」と呼びかけられました。

全厚労方針を 実行し増員獲得

開催地を代表してあいさつした広厚労・岩本一宏委員長は、「私たちの組合員ではないものの厚生連・広島総合病院の看護師1名が亡くなりました。また知り合いや医労連加盟組織の病院も被害にあっており、ボランティアや募金での支援をしていきたい。広厚労は約600名の小さな組合だけ

3年半前と 変わらない被災地

大震災・福島原発事故から3年半経った福島の現状を福厚労から特別報告してもらいました。福島原発では汚染水漏れが続ぎ、地下水の流入を食い止める凍土壁対策も成功せず、核種除去装置も役に立たない実態。放射線量が高く「帰宅困難地域」になっている双葉厚生病院が3年半前のままで変わらない状況などが報告されました(写真)。また福厚労として労働者の権利・生活・命を守る活動とともに、フクシマを忘れさせない取り組みを進めていく決意が表明されました。

職場と地域から 「働き続けられる 職場づくり」を

第1号議案(総括・方針)の提案では、この1年間で、安倍政権の暴走が勢いを増し、原発事故収束はそつちのけ、社会保障改悪が進められる一方で、秘密保護法成立や集団的自衛権行使容認の解釈改憲など「戦争する国づくり」が進められる



現在の双葉厚生病院。3年半前と全く変わっていない

また広島県医労連の桜井和春委員長は、広島での水害に触れ、「8月20日の豪雨災害で73名が死亡、まだ1名が行方不明です。被害は4440件を超え、八木地区

下で、労働組合の存在価値が問われる時代になったこと。「命と平和な暮らしを守る」ために、ゆとりある職場づくりと暴走する政治に対しても声を上げていく必要性が強調されました。また方針では、協同組合として地域とのつながりを作り、地域に支えられる病院・施設づくりと「働き続けられる職場」を職場・地域の両面から作っていくことが掲げられました。

討論では、発言本数は少なかったものの、1年間の取り組みの経験や教訓が出され、また厳しい経営や現場の中でのたたかいや悩みなども発言されました(2~3面参照)。

まとめでは、全ての県が意見を出し合い活発な大会を作ることを来年の目標に、厳しい情勢が予想されるなか、全厚労方針に結集し、全県の取り組みを共有、教訓化していくこと等が強調されました。



主催者あいさつを行う 茂原宗一委員長

また広島県医労連の桜井和春委員長は、広島での水害に触れ、「8月20日の豪雨災害で73名が死亡、まだ1名が行方不明です。被害は4440件を超え、八木地区

下で、労働組合の存在価値が問われる時代になったこと。「命と平和な暮らしを守る」ために、ゆとりある職場づくりと暴走する政治に対しても声を上げていく必要性が強調されました。また方針では、協同組合として地域とのつながりを作り、地域に支えられる病院・施設づくりと「働き続けられる職場」を職場・地域の両面から作っていくことが掲げられました。

討論では、発言本数は少なかったものの、1年間の取り組みの経験や教訓が出され、また厳しい経営や現場の中でのたたかいや悩みなども発言されました(2~3面参照)。

**第31回
医療研究
集会**

住民とともに協同組合医療運動を復興させよう

~ 誰のために、何をするか ~

11月21日(金)~23日(日)

磯部温泉 雀のお宿・磯部ガーデン

群馬県安中市磯部1-12-5

全日程参加費
36,000円

●シンポジウム 11月21日
「大戸診療所開設20年の歩みから学ぶ」

①国立療養所廃止反対運動の歴史
②大戸診療所の設立と住民参加の経過
③「友の会」について ④医師確保について
⑤その他

分科会 11月22~23日

- 第1分科会 「住民といっしょに運動する」
- 第2分科会 「働く者どうしのわかり合い」
- 第3分科会 「病院を地域にひらく」
- 第4分科会 「いのちを育む食と環境」

第20回 健康まつり

ご参加のお申し込みは
各県労働組合まで

たたかっつ中で前進する

—大会での発言から

大会では4つの専門部を含め、11県から計18の発言がありました。その概要を紹介します。

6病院の再構築と労働条件改善について

長野・鷹野代議員

長野では、佐久総合病院をはじめ6病院の再構築を行っている。組織内の検討はもちろん、地域住民との懇談、労組支部との話し合い、政策提言を行い、情報開示と民主的討論を経て、再構築を進めています。佐久では、3月1日に医療センターがオープンし、紹介病院としてかかりつけ医と連携し、専門機能病院として運営しています。これからこれまでの本院の再構築が開始されますが、佐久の2分割に当たっては想定外の問題が起これば、本来の計画に戻すという新たな挑戦が始まります。

富山の現状と退職金規定変更について

富山・吉滝 傍聴

富山では平成23年度から40億をかけての高岡病院改築工事が行われて、第1期3期工事を経てようやく5月に竣工しました。この間に赤字が膨らむ中で、モチベーションを下げないように夏季一時金は下げないようにとされてきましたが、年末一時金では収支を合わせるといって回答の中で、職員一丸となって頑張ってきました。今回、退職金制度の改定提案の中で、次年度以降の入職職員について、上限50ヶ月の退職金制度への変更を受け入れた一方で、期中退職についてのペナルティとしての80%への減額については、拒否しました。

会の「脱退工作」、協定なく狙い

新潟・畠山代議員

新潟では配布資料にあるように会・管理者の「脱退工作」が続いています。新厚労は「雇用と地域医療を

守る」ことを目標に活動してきました。今後も会や「第2労組」の新厚労ぶしに負けず、闘っていきます。

大衆団交で闘い獲得、署名の前進も

茨城・北見代議員

茨城では赤字基調の下でも、情勢や要求に基づき3万円を要求し春闘を闘いました。赤字宣伝に負けないよう、しつこい程の学習と「わくわく対話集会」などを開き、指名ストの準備もして闘いを構えました。夏季一時金では、土浦からバスで参加し、92名の大衆団交を実施し2ヶ月を獲得。若い組合員からも組合の意義が分かったとの声が上がりました。

病床機能分化や病院統合をめぐって

徳島・樫口代議員

徳島では、春闘でベア要求を掲げ、白衣のパレードを200名の参加で行うな



大会初参加で発言する秋田の奥井さん

どの取り組みを行いましたか、ベア実現はなりません。しかし看護手当は、21年ぶりにアップさせることができました。また日勤・深夜勤務での日勤の15分勤務短縮を勝ち取りました。

「答えは現場にある」と職種別で現場と懇談

秋田・奥井代議員

秋田では、「答えは現場にある」と2年前から9病院140カ所の職場を4年かけて、職場懇談活動を続けています。職場の都合に合わせて計画し、書記局が出向き、直接現場の声を聞いています。私が入った訪問看護では、地域から頼りにされながら十分な体制がない状況をスタッフの熱意で支えていると聞きました。会議では聞けない意見として要求に活かしたいと考えています。

夜勤協定の大切さを離さず

新潟・柳代議員

新潟では8日夜勤協定が守れない状況が続いています。「休めない。疲れている」という声が多く、毎月の看護委員会点検しています。56%という状況です。9ヶ月10日夜勤に対しては、1回2千円のペナルティ手当てが実施されていますが、増員には結びつきません。

地域医療を守るため、労使一体で考える

愛知・寺本代議員

愛知の次年度方針は、「賃金・雇用を守る」としています。愛知県厚生連の経営状況は年々悪化し、70億の赤字を計上した年から平成

大会メッセージをいただいた組織

●全国組合

全医労 全日赤
全JCHO労組 (旧健保労組)
全労災 国共病組 公共労

●県医労連

北海道 秋田 福島
富山 長野 茨城
埼玉 神奈川 愛知
岐阜 広島 山口
徳島 高知 大分
東京 岡山 福岡

●友誼組合・団体

全労連 国公労連
全教 特殊法人労連
建交労 全農協労連
航空労組連
キャビクルユニオン
全国食健連 中央社保協
保団連 日本医療総合研究所
国民救援会 日中友好協会
日本原水協 平和委員会
全国革新懇

(順不同)

大会役員

●議長団

大谷 博登 (三重)
近村 勝也 (広島)
美野輪智博 (茨城)

●議事運営委員会

岸 正範 (富山)
塩入 順 (長野)
荒木 誠 (岐阜)
高本 奉彦 (広島)
和田 祐輔 (中執)

●選挙管理委員会

鈴木 土身 (秋田)
栗原 由美 (埼玉)
大村 玲次 (静岡)
万里 昌美 (徳島)

●大会書記

矢山由起子 (広島)
浜村 理恵 (広島)

【次期選挙管理委員】

三北・福島
関信・長野
東海・岐阜
西日本・徳島

新年度の役員

●中央執行委員長

茂原 宗一 (長野・再)

●中央副執行委員長

折笠由美子 (福島・再)

岡部 義秀 (神奈川・再)

畑中 剛喜 (三重・新)

白濱 勉 (徳島・再)

●書記長

松尾 晃 (本部・再)

●書記次長

和田 祐輔 (新潟・再)

安本真理子 (茨城・新)

●中央執行委員

栗田 浩二 (北海道・新)

島 輝義 (秋田・再)

二瓶 研朗 (福島・新)

半田 良範 (富山・新)

畔上 稔男 (長野・新)

小野寺 誠 (埼玉・再)

関谷 幸夫 (神奈川・新)

原 宣紀 (静岡・新)

大橋 朗 (愛知・新)

荒木 誠 (岐阜・元)

山田 有子 (三重・新)

富永みち子 (広島・再)

藤井 理志 (山口・元)

矢野 潤一 (香川・再)

大和 崇史 (徳島・再)

●会計監査

浪除美千子 (高知・新)

中野 綾 (大分・再)

武藤 進 (秋田・新)

小掠 瑞樹 (三重・新)

元木 正広 (香川・再)

●中央副執行委員長

佐々木 剛 (秋田)

白井 康博 (新潟)

伊藤 岩吉 (三重)

●書記次長

小林 吟子 (長野)

●中央執行委員

宮川 健太 (北海道)

伊藤 友隆 (福島)

江野 忠章 (茨城)

大塚 温 (神奈川)

三井 賢一 (静岡)

山田 浩明 (愛知)

田宮 久史 (岐阜)

久保喜代子 (三重)

竹田 明夫 (山口)

上森美奈子 (高知)

●会計監査

加藤 隆 (北海道)

中野 博之 (静岡)

ニクス笑アツ

芝罘 ☆ 友 衛 行



24年度は、13億、現在は計画より2億未達の状況に急激に変化しました。今後は定昇停止や一時金4ヶ月について考える状況が出てくるかも知れません。新理事長は方針で人件費の見直しや、諸費用の見直しを打ち出しています。労組はかつて14年前に定昇停止した時より厳しいという認識もあります。しかし労組としては労組の主張に立った提言を行い労使ともに病院と雇用を守る立場で奮闘したいと考えています。

地域職員制度導入の動きに抗して

新潟では、「地域職員制度」に介護職員規定を準用して、導入されようとしています。第2組合は提案を受け入れる考えのようです。新厚労は「合意しなければ導入しない」との回答を会から得ました。ところが会では、本俸を下げ、調整手当を上げる形で、現給は変えずに退職金を引き下げる仕組みを10月導入を進めようとしています。

パワハラ許さない 取り組みへ

栄養科のパワハラ事件に對して、5ヶ月の闘いをやってきました。3月の団交では、謝罪を含む示談を勝ち取りました。その背景には、再雇用をきらったの嫌がらせ、退職強要がありました。労組では、パワハラホットラインを作り、職員の相談にのっています。

ミクロの運動に 対しての支援を

福島では、震災と原発の運動に力を注いできました。各県からの支援にも感謝しています。いま組織問題が大きくなっています。いまは合理化の動きを強めている中で、合併や吸収の動きが強まっています。マクロの運動も重要だが、全厚労としてミクロの運動をどうするのか。闘うには組合の団結と組合員の数の力が大事。ユニオン組合でも新潟のようなことが起きました。少数組合の問題解決

決や、今後いままで交えなかった諸団体との連携も含めて、雇用と医療を守る運動を進める必要があると思います。

医療再編合理化狙う 会とのたたかい

新潟・山本代議員 会は、医療再編・農協改革が進む中、合理化を行うために「第2組合」と協議しています。2病院の病棟休止や栃尾診療所の入院休止があり、労組のたたかいで病棟は再開されましたが、栃尾診療所の休止は続いています。給食委託も進められています。会は新厚労との協定の破棄を狙っており、そのため不当労働行為での申立てを準備しています。

地域包括ケア病棟の情報を

埼玉では、経営状態が悪く、なかなか労働条件の改善が難しい状態に置かれています。夜勤専従も減らさず、10回以上の夜勤については千円のペナルティ手当てが付くことになりましたが、改善ではないと思っています。また7対1から地域包括ケア病棟への転換が打ち出されていて、他県の情報を知りたいと思っています。

全厚労を支えて いくために

三重・加太代議員 三重では1974年に全厚労に加盟した時には、670名の組合員で200名の加盟と30%未満の加盟率で、他県の方々には肩身の狭い思いをしました。以後、18年間で50%、現在は60%まで持ってきました。が、今回1250名を登録し、64%まで到達することができました。今後とも全厚労を支える立場で頑張りたいと思います。

秘密保護法、憲法改悪、原発ゼロなどの署名に取り組みました。ビキニデーでは独自の平和学習会で原発問題を学び核兵器と原発が結びついていることを知りま

て知らせて組織する」をスローガンにして活動しています。今年は、「楽しく働くために、みんなで知って行動しよう」をテーマに、富山県砺波ロイヤルホテルで開催します。記念講演は三遊亭楽春さんによる「落語で学ぶストレスケアとコミュニケーション」と題しての落語です。現場ではワークライフバランスと称しての様々な勤務形態が提案されていますが、夜勤の有害性を認識して、働き続けられる職場づくりのために、学び交流していきましょう。

女性委員会から

岐阜・野崎さん 女性委員会では、この数年、憲法と平和の課題を重視してきました。震災が起こって3年。福島の現状を学びたいと第37回女性集会は、福島県いわきで開催し、被災者の実情と原発労働者の実態を学びました。また人が帰還できない被災地を見てまわり、除染廃棄物が小学校のグラウンドに山積みで、どうしてこの状況で帰還できるのだろうかと思

医療研委員会から

秋田・鈴木さん 全厚連が「長期ビジョン」を打ち出す中、地域に必要な病院・施設を残していくためには、病院と地域を一体に捉えることが必要です。医療研究集会是みんな「どうしたら良いかを考える」「国民が考える、学び語り合う場をつくる」「住民の力を結集する」「新しい住民運動を学ぶ」など、とても魅力に満ちた集会所です。集会の目玉は、群馬県の大戸診療所です。国立療養所「長寿園」廃止反対闘争の末、地域住民自らがお金を出し合って作った「住民立の診療所」の経験を学びましょう。

専門部の発言

平和委員会から

茨城・安本さん 今年にはビキニデー集会、国民平和大行進、原水爆禁止世界大会への参加の他、署名活動を重視しました。

看護委員会から

広島・迫さん

看護委員会では、「知っ

看護委員会から

広島・迫さん

カードTシャツで奮闘していただいた広厚労のみなさん、ありがとうございます。



厳しい経営状況のなか 頑張る埼玉の鈴木さん



大会を支えてくれた広厚労の仲間たち

議案の採決状況

出席代議員84/90名 (議長含む)

第1号議案 (総括・方針)
反対0 保留3 賛成81

第2号議案 (予算)
反対2 保留0 賛成82

その他、決算・秋闘方針・大会スローガン等は拍手多数で承認

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第89回は秋田と広島にお願いしました。



秋田 菅賢史郎さん

雄勝中央病院8年目の看護師、菅賢史郎です。まだまだ数少ない当院の男性看護師として、お年寄り(女性)の人気を保ちつつ日々の激務についています。

支部執行委員として何度か務めさせてもらい、大変だけどやりがいもある活動をさせてもらいました。働きやすい環境にしていきたいのはどの職場もきっと同じと思いますが、

地方では「空前の人手不足」により組合側も経営側も大きな痛手を受けていること活動を通じて実感しました。組合活動がなんだかよくわからない組合員がたくさんいますが、自分の職場がどんな状況下にあるのか理解するためにも、いろいろな活動に参加する人が増えてくれたらいいと思います。

私事ですが、9月に子供が生まれます。背負うものが増えますが、周りの環境に支えられながら家庭と仕事を両立させていきたいと思っています。

広島からは広厚労吉田支部の執行委員長、コウモト高本奉彦さんです。「奉彦」…何と呼ぶんだらう? 「トモヒロ」と呼びます。放射線技師です。執行委員長就任2年目になります。「おかしいものは、おかしい」と本部団交でも怯む事なく言える真直ぐな性格ですが、この性格で多少なりとも嫌な思いもして来たとの事ですが、組合にとっては大きな力だと思っています。全厚労の会議などに時々出社していますので、気軽に声をかけてください。



広島 高本奉彦さん

話題の映画

誇り高き武士の生きざまを描く『柘榴坂の仇討』(若松節朗監督)

浅田次郎の同名短編小説を映画化した時代劇。剣の腕を見込まれ、時の大老、井伊直弼(中村吉右衛門)の警護役となった下級武士、志村金吾(中井貴一)。時を同じくして容姿端麗なセツ(広末涼子)をめとり、金吾の人生は順風満帆でした。しかし、そんな彼を突如として悲劇が襲います。江戸城桜田門外で井伊直弼が襲撃され、命を落としてしまったのです。そばにいながら、主君の命を守ることができなかつた金吾は、自害することを許されず、現場から逃亡した5人の刺客を討ち取るよう命じられます。それから13年。一人、また一人と刺客が命を落とし、残るは旧水戸藩家臣の佐橋十兵衛(阿部寛)ただ一人に。果たして、金吾は十兵衛の居場所を突き止め、長きにわたる敵討ちに終止符を打つことができるのか。9月20日(土)から全国公開。



読者の声

全厚労ニュースいつも楽しく読んでいます! 各県の新人歓迎会の記事を読み、自分が入職した当時のことを思い出しました。いやあ、楽しく、仲良さそうな写真を見て、こちらも楽しくなってきたやいりました。私も組合活動にドンドン参加して、団結力深めたいなあと思いました。(秋田)

心がけたいものです。(OH)
8月15日、69回目の終戦記念日です。私の父もシベリア抑留経験者です。16年前に他界しましたが、子や孫に伝えることができたと思い、また生き残った者にとっては、それだけでも平和の大切さを感じることを教えてくれました。(新潟)

取り組みをしていることが分かりました。また長野も三重も青年部が今後も活動を積極的に続けていってほしいと思います。徳島も盛り上げていかなければならないと思います。(ON)
二ノコース作り大変ご苦労さまです。暑い日が続きますが、お身体に気をつけて頑張ってください。(徳島)

抜かれました。(新潟)
— 今も昔もイケメンは得をしますね。いろいろ組合活動に参加して頂き、隠れイケメンをもっと探してください。(HN)
— 全厚労ニュースは仕事の合間に読んでるので、もう少しだけ字を大きくしてもらえると読んでいられる気がします。内容はいつも勉強不足な私を救ってくれるものなので助かっています。(北海道)
— お知らせしたい内容がいつもたくさんあって困っています。月1回の発行なので、じっくりと読んで頂けたらと思います。(MT)

文房具クイズ

問題

<問題>机の上にある文房具の名前を、下の語群から抜き出してください。最後に残った文字をつなげると、ある文房具の名前になります。それは何でしょう?
(作・野上和彦)



エ	パ	ボー	ジョ	ケ	ノー
ン	ピ	ツル	コウ	シ	スト
ホ	ツ	チ	ペン	ギ	ゴム
ン	ス	キ	ブ	ンド	キ
					ミ
					サ

- エンピツ ●ボールペン ●ハサミ ●ノート ●ジョウギ ●ケシゴム ●ブンドキ ●ホッチキス

当選者(読者の声掲載者含む)10名様に図書カードを差し上げます。答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(7月号の答え:フオーク)